

～支援の概要～

経営判断に無くてはならない数値資料を提供し、目標達成を長期的に支援

1. 企業概要

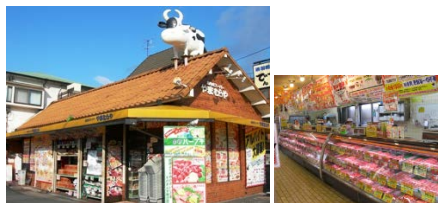
株式会社やまむらや（京都市右京区太秦森ヶ東町30-5） 代表取締役 山村大輝
TEL:075-862-8929 <http://www.yamamura.com/index.html>

①事業内容：

- ・食肉(主に牛肉)の小売業。

②企業紹介：

- ・京都府南部を中心に、主に焼肉用の牛肉の販売店(スーパー)を6店舗展開している。
- ・バーベキュー道具の無料レンタル、婚活バーベキューパーティーのプロデュースも行い、好評を博している。



天神川本店

2. 支援内容

- ①支援先からの要望により、単年度経営計画策定をサポート。
- ②経理部門の業務フローを改善。システム導入・運用サポートにより予実管理体制を確立する事で、利益・キャッシュフロー両面での経営実態把握が可能となった。
- ③その他、新店舗の出店、本店の修繕、給与体系の見直し等、多岐にわたる相談内容に懇切丁寧に対応。内容によっては、自身の持つネットワークから弁護士、司法書士、社労士等の専門家を紹介している。

3. 支援のポイント ～認定支援機関からのコメント～

- ①予算を作成する際は、利益からの逆算で作成します。目標利益をいくらにすべきかについても、あらゆる状況を勘案し、経営者からのヒアリングを基に設定します。現状でこの利益を計上するにはいくらの売上が必要なのかをいったん試算し、それを基に実現可能性等から、粗利の改善、経費削減等へと繋げます。ポイントは、経営者と一緒に予算を作ることです。経営者の頭の中にあるぼんやりした計画、目標を、専門家として文章化、数値化することで、経営者自身の考えが整理され、自身で課題を明確にし、全社挙げての目標達成の土台ができあがります。
- ②税務申告のためだけに作った数字だと、経営者は経理を面倒なコストとしか認識しません。ポイントは、経営者の経営判断に役立つ数値資料を作ることです。例えば、試算表に付随する月次の資料において、売上や粗利は総額だけでなく、重要な商品ごと、重要な得意先ごと、店舗ごと、の損益を確認できる仕組みづくりをするなど、システムを活用すれば案外簡単に経営者の求める数値資料は作れるものです。経営者が勘だけに頼るのではなく、数字の裏付けのある経営判断ができる環境を整えることが肝要です。

■認定支援機関の概要■

- ・機関名：入口純子（税理士）
（入口純子税理士事務所 所長）
- ・<http://www.iriguchi-tax.com/>
- ・設立年月日：2002年11月
- ・住所：京都市上京区西三本木通
丸太町上ル真町483
アビ岡本1F
- ・電話番号：075-254-5315
- ・従業員数：5名
- ・経営理念：
 - 一、中小企業経営者を育て、事業の発展と安定に貢献する事。
 - 二、社員を育て、守る事。

入口純子氏

